

## 朝河貫一博士通した国際交流の意義強調

朝河貫一博士顕彰講演会は 15 日、二本松市コンサートホールで開かれ、政策研究大学院、東京両大名誉教授で同市未来戦略会議委員を務める黒川清さんが「今、なぜ朝河貫一なのか」と題して講演した。同市出身で世界的な歴史学者の朝河貫一博士没後 70 年顕彰事業として市と市教委が主催した。黒川さんは朝河博士を通して交流のある米国ニューハンプシャー州ハノーバー町、ダートマス大、イェール大などを中学生が訪れる市の「市民の翼」を意義ある事業と捉え、世界の国々を回り、じかに人々と触れ合うことの大切さを強調した。また、黒川さんは温暖化や災害の激化、格差などが世界的に問題になっている事柄を分かりやすく説明、「ネット環境の進化など社会の枠組みが大きく変化している。自ら課題を見つけ、知識を獲得、解決に向けて積極的に行動することが重要だ」と話した。

(2018 年 12 月 福島民友)